

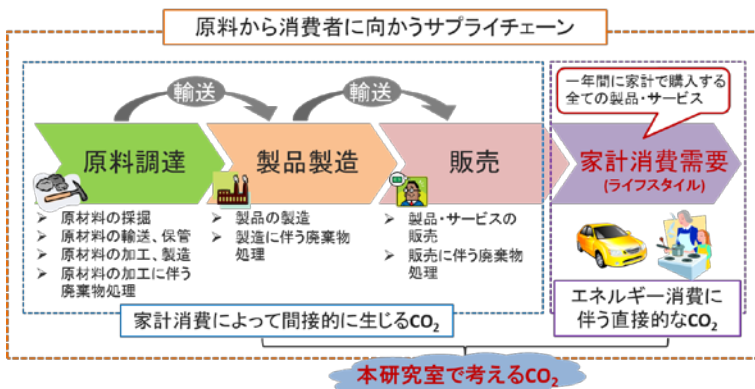
重富研究室（環境システム学）

教員名：重富陽介

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

今日最も大きな環境問題である地球温暖化を引き起こすCO₂やニュース番組等でも取り上げられるPM_{2.5}は、主に自動車の利用に由来する化石燃料の燃焼に伴う排出等が原因であることが広く知られています。近年ではこのような直接的な排出だけでなく、**隠れた間接的な環境負荷量の可視化**が注目されています。例えば先の自動車の例を挙げますと、自動車の生産に投入される二次的なエネルギー消費量に由来するCO₂が隠れた間接排出量となります。

環境システム学研究室では、国際的な環境政策に着目しながら、**産業エコロジー学**の方法論による隠れた環境負荷の『見える化』を進め、これからの環境負荷削減に向けた新しい知見やアプローチについて探究する研究を行います。こうした取り組みはすでに企業でもScope3や欧州環境フットプリント制度を通して推進されており、国内外で非常に重要度の高まる昨今の環境分野に寄与することができます。



環境システム思考に基づく私たちのライフスタイルに起因する直接・間接（隠れた）CO₂の排出構造

2017年度ゼミ合宿で訪ねた金毘羅山にて

● 先輩はどんなところに就職しているの？

ここでは産業間のつながり（BtoB, BtoC）や消費者のライフスタイルについて俯瞰的に学ぶことができ、主に企業や行政の環境マネジメント、マーケティング、調達等の仕事に役立つことが期待されます。基本的には学生自身の希望に基づいて就職活動をしてもらっており、昨年度は2名卒業し、うち1名が国内でSE系の企業に就職しています。